

「イカ釣り LED 漁灯活用ガイド」の刊行

水産業システム研究センター

研究の背景・目的

イカ釣り漁業では、漁灯の大光量化に伴い燃油多消費型の経営形態が定着することになりました。近年、燃油高騰の影響を受けて、イカ釣り漁業においても、省エネ技術として注目される発光ダイオード(LED)を用いた漁灯の導入が検討されてきましたが、LED 漁灯だけで操業すると、従来のメタルハライド(MH)漁灯に比べて漁獲量が劣る傾向にあるため、LED 漁灯の特性に応じた漁獲法の開発が要請されています。

研究成果



夜間操業するイカ釣り漁船にスルメイカが集まり漁獲されるまでの仕組み(誘集・漁獲過程)を解明するとともに、LED 漁灯の特性に応じた漁獲方法を見いだすため、農林水産省委託事業「イカ釣り漁業における LED 灯の応用による効率的生産技術の開発(2009-2012)」を行いました。その成果を「イカ釣り LED 漁灯活用ガイド」として取り纏めました。

「イカ釣り LED 漁灯活用ガイド」は、2 章から構成されています。第 1 章では、イカの誘集・釣獲過程に関する研究成果を紹介し、効率的操業を行うための漁灯活用の方向性を示しています。第 2 章では、LED 漁灯の活用に向けて、LED 漁灯の特徴や導入事例等を紹介しています。

波及効果

「イカ釣り LED 漁灯活用ガイド(A5 版、約 70 頁の小冊子)」は、都道府県や関連業界団体等に配布され、イカ釣り漁業における LED 漁灯の導入に寄与しています。水産工学研究所ホームページ http://nrife.fra.affrc.go.jp/seika/ikaturigaido/ikaturigaido_index.html から閲覧出来ます。

国立大学法人東京海洋大学・株式会社東和電機製作所・石川県水産総合センターとの共同研究成果です。

(エネルギー・生物機能利用技術グループ: 高山 剛)